



2014
秋号
No.72

発行 徳島市かちどき橋1丁目41番地 TEL 088-622-8158 FAX 088-626-5411
URL : <http://www.toku-forest.com/> E-mail : info@toku-forest.com



上勝町榎原



Contents

第63回通常総会開催	2～3
山の仕事師大集会	4～5
第92回協同組合デー記念講演会	5
「みどりの110番」実績報告書	6
人事異動のお知らせ	7

第63回通常総会開催

平成26年5月27日、徳島市「徳島グランヴィリオホテル」において徳島県森林組合連合会第63回通常総会が開催されました。

冒頭、杉本会長は、我が国の経済問題に触れ、アベノミクス効果により個人消費や公共投資等の国内需要が堅調に推移し、企業収益の増加から雇用情勢も改善が見られるなど、本格的な景気回復に対して期待感を示されました。

一方、森林・林業界においては、木材利用ポイント事業も要因となり住宅着工戸数が増加し、再生エネルギーの固定価格買取制度を活用した木質バイオマス発電事業や、公共建築物での木材利用促進など、国産材の利用拡大に向け、大きな後押しをいただいております。徳島県においても木材の生産・消費を倍増させる「次世代林業プロジェクト」の取り組みの中で、全国初となる「徳島県県産材利用促進条例」が昨年施行されるなど、県産材の需要拡大に向けた対策が積極的に展開されるとともに、ナイスグループの大型製材工場の本格稼働が始まり、A・B・C級材すべての安定供給先が確保され、さらなる増産対策と安定供給体制の構築が急務である。

また、森林組合系統としては、増産に対する要請に応えるためにも、これまでの搬出間伐に加え皆伐を積極的に推進し、適切な更新を進める循環施業システムの構築や皆伐に対応した先進林業機械の導入を図るとともに、効果的な採材や選別方法の確立などを進め、経営基盤の強化や組合員への収益還元増加に取り組むことが必要であり、さらには広域合併推進協議会による第六次基本計画に沿って広域合併を推進することにより、組合資本を集結し、経営基盤の拡充と組織体制の強化を目指し取り組んで参りますので、引き続き、会員の皆様方のご理解・ご協力と、国・県・市町村・関係機関のご支援・ご鞭撻をお願いする旨の挨拶を行いました。

続いて優良森林組合並びに役職員の表彰式が執り行われ、受賞者を代表して「美馬森林組合 七田専務理事」が謝辞を述べられました。その後、熊谷副知事をはじめ、徳島森林管理署・堀署長、農林中央金庫高松支店・深井農林水産環境事業部長よりご祝辞を賜りました。

なお、議事については議長に西副会長が選出され、提出9議案はすべて原案どおり可決承認されました。また、総会終了後、任期満了に伴う役員選挙が行われ、新役員が選出されました。その後開催された理事会・監事会において、代表理事会長・副会長・代表理事専務・代表監事が選任されました。



杉本会長あいさつ



熊谷副知事ご祝辞



総会の様子

平成26年度優良森林組合並びに役職員の表彰者(敬称略)

1. 優良森林組合の部

販売事業の部 美馬森林組合
 購買事業の部 海部森林組合
 森林国営保険事業の部 三好西部森林組合



表彰式の様子

2. 役員の一部

美馬森林組合 専務理事 七田 義貞
 徳島中央森林組合 代表監事 加藤 秀敷



受賞者代表・謝辞

3. 職員の一部

徳島中央森林組合 森林公園主任 大野 浩
 徳島中央森林組合 総務課長 本生 啓二
 木頭森林組合 販売係長 福島 勝美

新 役 員 名 簿

役員名	氏名	常勤・非常勤別	任期	備考(兼職状況等)
代表理事会長	杉本直樹	非常勤	H29通常総会	徳島県議会議員
副会長	和泉隆啓	//	//	阿波麻植森林組合長
代表理事専務	伊藤晴夫	常勤	//	学識経験者
理事	長谷宏昭	非常勤	//	海部森林組合長
//	木下正雄	//	//	三好東部森林組合長
//	美馬宏信	//	//	徳島中央森林組合長
//	鏡勝	//	//	日和佐森林組合長
//	榊野千秋	//	//	木頭森林組合長
//	中川重秋	//	//	三好西部森林組合専務
理事参事	後藤尚之	常勤	//	職員理事
代表監事	内藤富士雄	非常勤	//	阿南市森林組合長
監事	扶川忠保	//	//	板野郡森林組合長
//	武田喜善	//	//	美馬森林組合長

山の仕事師大集会



八木社長・記念講演

平成26年7月30日、徳島グランヴィリオホテルにおいて「山の仕事師大集会」が開催されました。

今回の集会には、森林組合・林業事業体の役職員及び作業班員、また、飯泉知事や熊谷副知事をはじめ行政機関からも多数ご参加をいただき、総勢200人あまりの文字通り大集会となりました。

メインテーマは「儲ける林業」と題し開催され、作業が本格化する季節を前に、県内林業従事者が一同に集結し、テーマである「儲ける林業」の実践について考える機会を作ること

を目的として、講師には、兵庫県宍粟市より『株八木木材代表取締役 八木 数也 氏』を迎え、テーマに沿った記念講演を行っていただきました。

この講演では、八木社長の実体験や実例を挙げながら、まさに「儲ける林業」の実践方法をお話しいただきました。

具体的な事例では、平成7年より高性能林業機械の導入（*補助金なしで最大12台所有）と路網整備を進め、主に間伐による低コスト施業を推進した結果、徳島県とさほど変わらない地形での施業にもかかわらず、1日当たりの生産性については、平均10㎡/人以上（好条件の場合は20㎡/人）、所有者への還元額が最大200万円/畝、その結果、従業員の給料についても非常に高水準であることなど、大変卓越した経営力と、それに見合った技術力を発揮されてきたことがうかがい知れました。

また、参加者からは、驚きとともに今回のテーマである「儲ける林業」に対する意識が高まったという声が多く聞かれるなど、大変有意義な大集会となりました。

なお、集会では、「とくしま林業マイスター登録証交付式」が執り行われ、河口林業飛躍局長より登録証が手渡されました。今回、登録されたマイスターの方々は、林業事業体等からの要請を受け、様々な現場において技術指導に当たることとなっており、今後の活躍が期待されております。

講師プロフィール

◇やぎ かずや

昭和32年生まれ。兵庫県出身。



昭和50年に八木商店にて原木運送に携わったのち、昭和61年、八木木材を創業。以来28年間にわたり、兵庫県宍粟市で、主に間伐による素材生産事業を低コストで推進することで山元還元を高めることに注力、現在では年間素材生産量約14,000㎡、生産性は10㎡/人日以上を実現するに至っている。

- ・平成19年度国有林間伐推進コンクール、間伐事業部門の最優秀賞を受賞
- ・協同組合兵庫木材センター理事長
- ・株式会社バイオマスエネルギー代表取締役



飯泉県知事・挨拶



登録証交付式

山の仕事師大集会次第

- 1 開 会
- 2 主催者挨拶 徳島県森林組合連合会 代表理事会長 杉本 直樹
- 3 来賓挨拶 徳島県知事 飯泉 嘉門氏
- 4 講 演
 - ①徳島県の林業を取り巻く現状、現在の林業従事者が求められること
講師：徳島県林業戦略課次世代プロジェクト推進室
係長 工藤 剛生氏
 - ②林業就業時の労働安全対策
講師：林業木材製造業労働災害防止協会徳島県支部
事務局長 粟飯原 勝芳氏
- 5 とくしま林業マイスター登録証交付式
- 6 記念講演
「儲ける林業」(株)八木木材の挑戦
講師：株式会社 八木木材 代表取締役 八木 数也氏

第92回協同組合デー記念講演会



磨部長・記念講演

平成26年7月3日、徳島県水産会館において「第92回国際協同組合デー記念講演会」が開催されました。

国際協同組合デーは、毎年7月の第一土曜日と定められており、これを契機として、協同組合運動の意義を確認し、協同組合間の提携、協力関係をより前進させるため、本県の協同組合関係者が相集い、民主的な運営の確立と協同組合運動の発展を期することを目的とし、毎年度記念講演会を開催しています。

本年度は県漁連のお世話の元、農協・漁協・生協・森林組合の関係者ら100名が集い盛大に開催されました。

講師には宮城県漁業協同組合指導部長の磨 有司氏を迎え「東日本大震災からの復旧に向けて」と題し、宮城県の水産業及び宮城県漁協の震災前の状況にはじまり、震災による被害状況、さらには甚大な被害を受けたのち、どのようにして復旧・復興に向けて取り組んできたかなど、大変貴重なご講演をいただきました。

私たち徳島県民にとっても非常に身近な問題であり、震災問題について改めて考え直す機会をいただきました。

みどりの110番

◇樹木医による無料緑化相談◇

「みどりの110番」では徳島県森林組合連合会の所属員及びその組合員並びに会員外に対し、本会に、徳島県樹木医会の先生が週3日駐在し、電話・FAX・窓口対応の方法により、無料の緑化相談、技術指導を行っています。

・庭木の管理・樹木の病気・樹木の害虫・樹木の育成環境・森林の整備方法など
(有料の出張診断、治療、病虫害防除等も行ってあります。)

〈平成25年度相談状況〉

月	相談等件数	地域別		相談区分			調査依頼	その他依頼等
		県外	県内	TEL	FAX等	来所		
4	12		12	2	2	8	1	
5	21		21	14	1	6	3	
6	12		12	8		4	2	
7	18		18	12		6	1	
8	16		16	8		8	4	
9	15		15	8		7	2	1
10	31	2	29	14		17	3	1
11	18		18	9	1	8	3	
12	9		9	5	1	3	1	
1	13		13	8		5	3	
2	10		10	5	2	3	1	1
3	13		13	4	1	8	1	
計	188	2	186	97	8	83	25	3

(相談内容)

平成25年度の「みどりの110番」の相談件数は188件となり、昨年度より8件(4%)増加した。このうち32%が、天然記念物や公園、学校、街路樹など公共的な施設からの相談であり、「みどりの110番」は依然として県下唯一の緑化技術の相談窓口として県民の要望に対応してきている。

地域別では、県外からの相談2件以外全て県内からの相談であり、また相談区分では、電話相談が97件、次いで来所等83件の順となった。来所等の件数は昨年度より15件増加しているが、この原因は、昨年度から相談員ができるだけ具体的な回答ができるよう、相談される方に、現物や写真を持参しての来所をお願いしている事から、この効果が現れたものかと思われる。また、FAX等の件数は僅かに増加している。

相談内容の内訳は次のとおりであり、「庭木の保育管理等の相談件数」は、昨年度とほぼ同様の比率であるが、「庭木の病虫害等の相談件数」の比率はやや増加しており、「緑化樹等の増殖についての相談件数」は、依然として低い比率となっている。また、「その他の(事務連絡を含む)相談件数」はやや減少した。なお相談内容の増減については、台風の襲来や緑化樹病虫害の発生消長などが影響しているように思われる。

(相談内容の内訳)

庭木の保育管理等の相談件数	84件	44%	(昨年度 43%)
庭木の病虫害等の相談件数	56件	30%	(// 23%)
緑化樹等の増殖についての相談件数	2件	1%	(// 2%)
その他の(事務連絡を含む)相談件数	46件	25%	(// 32%)

(天然記念物や公共的な施設の相談件数)

天然記念物・公園・学校等施設からの相談件数 61件 (全相談件数の32%)

(天然記念物や公共的な施設の指導等の実施状況)

平成25年度「みどりの110番」を通じて指導等を実施した箇所は、次のとおりである。

昭和町公園のサクラ、川井のヒイラギ、大麻比古神社のヒノキ・サカキ、徳島地方裁判所のサクラ、徳島県庁のサクラ並木、神山町辰の宮の大クス、市場中学校のクロマツ、桑野小学校のイチヨウ、阿波市大野島神社のフジ、壇の大クス、川島高校のサクラ並木、赤羽根大師のエノキ、吉野川市道路のサクラ、柿原小学校のユーカリノキ、加茂の大クス、野神の大センダン等。

【相談受付時間】

月曜日・水曜日・金曜日の午前10時から午後4時まで
(祝日・年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)を除きます。)

お気軽にお問い合わせ下さい。

(088)652-4110

(TEL・FAX兼用)



徳島県樹木医会 日本樹木医会会員

〒770-0939 徳島市かちどき橋1丁目41番地
林業センタービル5F(徳島県森林組合連合会内)

人事異動のお知らせ

本会では9月1日付けで下記のとおり人事異動を行いましたので、お知らせいたします。

■人事発令

新所属・職位	氏 名	旧所属・職位
総務指導課長	熈原大樹	総務課長
事業課係長	武内和人	次世代林業戦略室係長
総務指導課主事	出口恵理	総務課主事
総務指導課技師	杉本雅彦	事業課技師

■徳島県森林組合連合会 組織図 (平成26年9月1日現在)



人は生まれながらに 「人」として生きる権利を持っています。



国際連合は、1948年（昭和23年）12月10日に「世界人権宣言」を採択し、その主旨は「すべての人間は、生まれながらにして自由であり尊厳と権利において平等である」という内容でした。

1966年（昭和41年）「国際人権規約」を採択、「人権の国際基準」を示し地域紛争や、人権侵害、難民問題が取り上げられる中で、世界が「人権」についてよく考えるようになりました。

1994年（平成6年）の総会において1995年から2004年までの10年間を「人権教育のための10年間」と決議しました。以後、各国において積極的に取り組むよう要求しています。

これを受けて、我々森林組合を含む全国農林漁業団体では「人権問題啓発推進事業」を開始し、継続してこの運動を展開しています。

「人権」は永遠のテーマです。わたしたちは人権について学び、かつて採択した「世界人権宣言」の主旨を次の世代へ引き継がなければなりません。

**私たちの身近にひそむ差別や偏見、
人権侵害につながる人権課題に対する心構えを常に持ち続けましょう。**

JForest

**全国森林組合連合会
人権問題普及啓発事業**